

「上小っ子」は本校ホームページでも見るができます。URL <http://www.city.uenohara.ed.jp/uenoharashou/>

<h1>上小っ子</h1>	<h2>NO.10</h2> <p>上野原市立上野原小学校</p> <p>発行日：平成 29 年 1 月 25 日</p> <p>発行者：校 長 中込 一雄</p> <p>TEL：62-3104</p> 
---------------	---

## 思春期の子どもと向き合う

思春期を迎え、どのように子どもに接していったらよいのか悩んでいる保護者の皆さんもいるのではないのでしょうか。いままでは素直に言うことを聞いてくれたのに聞いてくれなくなった、学校のことを話さなくなった、あまり親と会話をしなくなった・・・、そう感じた経験のある皆さんも多いかと思います。興味深い資料がありましたので、要約してみました。参考にしてください。



思春期に何か問題が起こった時「この子の人生はもう取り返しがつかない」などと思う必要はありません。ただ、親が描いてきた理想の子ども像や親の将来プランを一度棚上げにして、目の前の子どもと、生身の人間同士として向き合わなければならない時期なのです。

子どもの揺れる心を受け止めながら、親である私たちの心が鍛えられていくのです。思春期は手応えのある分だけ、実り豊かな成長期といえるかもしれません。

### 【いかに理解するか】

思春期は親に激しく反抗しているようで、反面親に依存もしています。暴言を吐いた次の場面では親にべたべたするようなこともよく見られます。親から自立したい気持ち、親に頼りたい気持ち、同時平行で存在することが思春期の心の特徴の一つです。

また親に対する反抗を、親を憎んでいるととらえるべきではありません。親に対する依存もまだ強いので、そこから自立していくためには大きなエネルギーがいります。親に対して反発したり、話をしなくなったり、乱暴な言葉を浴びせかけたりするのは、依存する親から何とか距離をとろうとする動きと言えるでしょう。

### 【いかに対応するか】

親としては、まずは親離れをしようとする子どもの気持ちを認めてあげながら、将来の夢を描いたり男性(女性)としての自分に自信を持ったりするなど、思春期の発達課題を達成しやすいような方向で援助する必要があります。将来の進路に関しては、親の意見を押し付けるのではなく、子どもの意見を尊重し、自分で考えて決断することを応援するのがよいでしょう。また、子どものプライバシーを守る必要もあります。さらに、小遣いなどのルールを明確に提示していく必要があります。異性の親子間のスキンシップは控え、夫婦喧嘩に子どもを巻き込まないなどの配慮も必要となります。



## 上小の4つの宝物 ～始業式での話より～

3学期初日の始業式で、「上小の宝物」について話をしました。宝物と言っても物ではありません。上小児童にずっと引き継がれているすばらしい面です。以下、話の概略です。



今日は上小の宝物を持ってきました。この箱の中に入っています。4つの宝が入っています。(箱の中から上小の宝《すばらしい面》が書かれた巻紙を出しながら・・・)

1つめです。「仲良く遊べる」という宝です。1年生から6年生まで学年関係なしに仲良く一緒に遊べます。休み時間、多くの児童でグラウンドを分け合いながら仲良く遊べます。校庭の取り合いでけんかするということもありません。これが上小の宝物の1つ目です。

2つめです。「消音で行動できる」ランチルームの消音、移動する時の消音、集会に集まったときの消音、すばらしいです。

3つめです。「いっしょうけんめい掃除ができる」時々6年生と掃き掃除をしますが、無駄口をせず、一生懸命掃除をしています。すばらしい。

4つめです。「あいさつができる」あいさつ運動の時玄関に立ちましたが、笑顔で元気にあいさつができます。

みなさんは、当たり前だと思っているかもしれませんが、すごいことです。なかなか、できることではありません。だから、この4つは上小の宝物です。これからも、この宝物は大切に守ってください。この宝物には形がありません。だから、みんなが行動しなければ消えてしまいます。今までは6年生が中心に守ってくれました。しかし、6年生はもうすぐ卒業です。6年生が卒業した後は、5年生が中心になって守って欲しいと思います。



この4つは上小児童に引き継がれたきた宝です。大切にすると同時にさらに宝を増やしたいと思います。

## 2月の予定

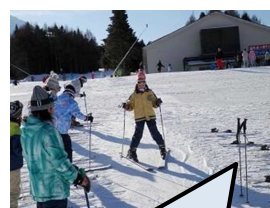
日	曜	主な予定
1	水	学校集会
2	木	北教研 校庭開放日
3	金	避難訓練
4	土	
5	日	山日席書大会
6	月	
7	火	
8	水	上中新入生説明会
9	木	委員会
10	金	5年授業参観・学年総会
11	土	建国記念の日
12	日	
13	月	2年授業参観・学年総会
14	火	3年授業参観・学年総会
15	水	4年授業参観・学年総会
16	木	1年授業参観・学年総会
17	金	6年・けやき授業参観・学年総会
18	土	
19	日	
20	月	入学説明会
21	火	
22	水	通学班編制・地区別下校
23	木	ありがとう給食会 午前短縮
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	6年生を送る会準備
28	火	6年生を送る会 学校開放日 評議員会

## 5, 6年スキー教室、楽しめました！

インフルエンザがちらほらと出始めた1月中旬、拡大することもなく予定通りふじてんスノーリゾートでスキー教室を実施することができました。ゲレンデには数日前に降り積もった雪が適度にありました。天候は快晴、その上笠をかぶった壮大な富士山もくっきり見えるという絶好のコンディションでした。到着後、経験別のグループに分かれ、インストラクターから丁寧に指導してもらいました。指導が終わるころには、午前中と見違えるほど上達しました。1日を使う行事ですが、「経験すること」はとても大事なことです。「0」と「1」では無限の開きがあります。この1日は、子どもたちにとって、大変意義ある1日になったと思います。



まずは、けがをしないよう入念に準備体操をしました。5年生には初めてスキー靴をはく児童も多く、「ロボットになったみたい」なんて言っている児童もいました。



いよいよスキーをつけて、練習開始です。5年生はスキーをハの字にしてゆっくり滑る練習から始めました。経験ある6年生のグループの中には、はじめからリフトを使って練習するグループもありました。



午後は5年生もリフトを使って練習しました。初めてのリフトは緊張したようです。転びながらも楽しんで下まで滑ってきました。慣れてくると楽しくてたまらないといった感じでした。

## 冬休みの様子あれこれ

学童の子供たちは、冬休み中も元気に学童に通いました。寒さに負けず校庭で楽しそうに遊んでいました。まさに、「子供は風の子」ですね。



市役所ではフォローアップ教室が開かれました。宿題や冬休みの友を持ってきて一生懸命学習しました。分からない所は支援員の先生方に教えてもらいました。



森林組合の皆さんに、枯れ枝などの伐採をしていただきました。高所作業車を使い、普段手の届かないところまで、枝を落としてもらいました。



## 大学との連携

### ～帝京科学大学、学生の学習支援～

本校では、帝京科学大学の学生の皆さんに、様々な学習支援をしていただいています。

1年生は、春に裏山探検をしています。グループに分かれ、クイズを通して自然観察をします。また、秋には自然の事物を使いクラフト教室をします。

2年生は、多摩動物園で動物について学びます。学生と一緒に動物園を歩き、クイズやゲームを通して動物について教えていただいています。秋の遠足では帝京科学大学に行き、馬やへびなどの動物とのふれあい体験をしています。ハムスターやモルモットなどを学校に持ってきていただき、飼育体験もします。

アニマルサイエンス学科など動物に関係した学科が設置されている大学だからこそできる支援です。来年度からは小学校教員を養成する学科も新設されるということです。今後、さらに様々な支援をしていただけるのではないかと期待しています。



クラフト教室では、自然の中にある物を使って作品を作りました。大勢の学生さんが支援してくれました。

## 校長室の窓

今、校長室前の廊下の隅に「八重山ミュージアム」という、ちょっとした展示スペースを作っています。八重山の季節毎の写真や鹿の角、動物の頭骨などを展示しています。通りがかりに見てくれる児童もいるようです。

そのせいでしょか、最近自然の事物をいろいろ拾ってきてくれる児童がいます。5年生の加藤菜美さん、小林那遥さん、飯島成海さんの3人はタヌキの頭骨を持ってきてくれました。4年生の関戸亮磨さんはネズミの頭骨を持ってきてくれました。また、5年の村地七海さんと2年の村地蒼哉さんは、スズメバチの巣を持ってきてくれました。早速展示したいところですが、今の展示場所では狭くて無理です。そこで、司書の町井先生に図書室の一角に展示スペースを作ることができないか相談してみました。すると、町井先生も3つある図書室の内、「本の惑星」は自然や地域に関わる本や事物の展示をする部屋にしたいと思っていたことでした。まさに渡りに船です。

今年度中には「本の惑星」の一角を使って、リニューアルした「八重山ミュージアム」を完成したいと思っています。子供たちが持ってきてくれた骨やスズメバチの巣も展示できそうです。どんなミュージアムにできるか、自分自身が一番ワクワクしているこの頃です。